

もくじ

- けびょう つか
仮病を使ったライオン

けびょう つか
仮病を使った

ライオン

げんさく
原作： ぐうわ
イソップ寓話

イラスト： ちひろ

へんしゅう
編集： YellowBirdProject

3

「さてさて、なにかいい^{かんが}考えはないだろうか・・・」

ライオンは、^{すあな}巣穴に^{ねころ}寝転がって、^{かんが}考え^{ごと}事をして
いました。

「^{はら}腹がへった。しかし、^{さが}エサを探しにいくのも
^{めんどう}面倒だ。^{うご}動きたくない。動きたくない。う～ん、
う～ん・・・」

ライオンは、ここで^{よこ}横になったまま、^{うご}動かないで
エサをとれる^{ほうほう}方法を^{かんが}考えていました。

「こんにちは、ライオンさん。なにかあったのです
か？」

^{すあな}巣穴の入り口から、^い一^{ぐち}頭のシカが^{かお}顔をのぞかせまし
た。



5

「え、いや、とくになにもないが・・・」

「なあんだ、よかった。ライオンさんのうなりごえが
聞こえてきたから、どうしたのかおもと思って」

シカはあんしん安心して、かえ帰っていきました。

(まったく、おせっかいなシカだな。わざわざしんぱい心配
して、こえ声をかけてくるなんて・・・ん、ま待てよ、これは
つか使えるぞ！)

